

かおり

vol.
55
November
2016



撮影者／高見由佳

理念

私たちは地域の皆様の幸福(しあわせ)に貢献できる社会福祉法人を目指します。

品質方針

顧客満足から顧客感動へ「やさしさ」「真心」「思いやり」で満ち溢れた心のかおりのするサービスを目指します。

今回の内容

ISO9001 定期維持審査・拡大審査を受審しました	02
介護福祉情報 介護サービス情報の公表制度を活用しましょう	03
各拠点からのお知らせ さこ拠点(彦島迫町)	04
たのくび拠点(彦島田の首町)・しおはま拠点(彦島塩浜町)	05
ゆめタウン拠点(長府ゆめタウン)・しおかぜ拠点(彦島迫町)	06
松美会の人材 私たちが働いています!	07
自宅でできる介護食のススメ(その2)	08

自宅でできる
介護食のススメ
(その2)

栄養管理・食事サービス部



今回は、食事づくりの中で簡単に「やわらかい食事」を作る6つのポイントについてご紹介しました。今回は、6つのポイントのうち「つなぎを工夫して軟らかく」「あんかけを活用する」「調理器具の活用」の3つのポイントを取り入れたレシピをご紹介します。

～いわしのすまし汁～ (3～4人分)

- いわし 4匹
 - A (卵の素) 卵黄 1個、サラダ油大さじ 1 ●B 生姜汁 10g、味噌小さじ 2、薄口醤油小さじ 2/3
 - 大根 60g ●にんじん 40g ●ごぼう 30g ●だし汁 600cc ●塩 小さじ 2/3
 - 醤油 小さじ 1 ●片栗粉 小さじ 1 ●生姜 (すりおろし)、小ネギ お好みで
- 【作り方】
- ①大根・にんじん・ごぼうは皮をむいてピーラーでささがきにします。
 - ②いわしは 3枚に開いて中骨を取り、切り身はフードプロセッサーにかけすり身にする。
 - ③Aを泡だて器で白くなるまで攪拌し(卵の素)を作る。
 - ④ボウルに A、B、②を入れてよく混ぜる。
 - ⑤出し汁に①を入れ火にかける。
 - ⑥⑤が煮立ったらアクをとり、④のすり身をスプーンで落としいれ、火を通す。
 - ⑦塩・醤油で味を調え、片栗粉でトロミをつける。
 - ⑧器に盛り、すりおろした生姜・小ネギをお好みで入れる。

ワンポイントアドバイス (卵の素) は、ひき肉料理や魚料理などを滑らかにしてくれます。今回のいわし以外にも使えますので、是非ご家庭の料理に取り入れてみてください。



社会福祉法人 松美会

◎アイユウの苑 迫(さこ)
〒750-0092 下関市彦島迫町三丁目17番2号

■特別養護老人ホーム アイユウの苑(ショートステイ)
■アイユウの苑 デイサービスセンター
■アイユウの苑 サテライトデイサービスセンター六連島
■アイユウの苑 ホームヘルプサービス
■アイユウの苑 訪問入浴サービス
■アイユウの苑 訪問看護サービス
■アイユウの苑 ケアマネジメントセンター

Tel. 083-266-8287
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-261-1372
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-261-4337
Tel. 083-266-6501

◎アイユウの苑 田の首(たのくび)
〒750-0085 下関市彦島田の首町一丁目1番32号

■アイユウの苑 グループホーム
■アイユウの苑 デイサービスセンターしおはま

Tel. 083-266-5361
Tel. 083-266-5362

◎アイユウの苑 塩浜(しおはま)
〒750-0086 下関市彦島塩浜町三丁目14番47号

■地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑しおはま
■小規模多機能型居宅介護 アイユウの苑しおはま
□住宅型有料老人ホーム アイユウの苑しおはま

Tel. 083-267-8800
Tel. 083-267-2525
Tel. 083-267-2525

◎アイユウの苑 ゆめタウン
〒752-0926 下関市長府ゆめタウン2番24号

■地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑ゆめタウン
■アイユウの苑ゆめタウン ショートステイ

Tel. 083-249-2200
Tel. 083-249-2200

◎しおかぜの里
〒750-0092 下関市彦島迫町六丁目7番22号

□しおかぜの里保育園

Tel. 083-267-1917

URL: <http://www.shoubikai.or.jp>
E-mail: fukushi@shoubikai.or.jp



社会福祉法人 松美会 アイユウの苑 は「社会福祉法人」「特別養護老人ホーム」「在宅介護サービスの複合供給体」として、日本で初めて1999年10月に品質マネジメントシステム ISO9001 の認証(審査登録)取得を実現しました。その後も、システムの維持・継続的改善をしながら認証取得事業所の拡大を推進しています。

介護福祉情報

介護サービス情報の公表制度を活用しましょう

あの事業所とこの事業所って何が違うの？



介護サービスを利用しようとした時、皆さんはどのようにして利用する事業所や施設を選ばれますか？担当のケアマネジャーがいる場合は、ケアマネジャーに相談することもあると思いますが、ご自分の目でサービス事業所を比較することも大切なことだと思います。しかし、「ご自分でサービス事業所を比較するのは難しいのでは？」と思ってあきらめていませんか？そんな皆さんのために厚生労働省が運営する「介護サービス情報公表システム」という便利な事業所比較サイトがあります。

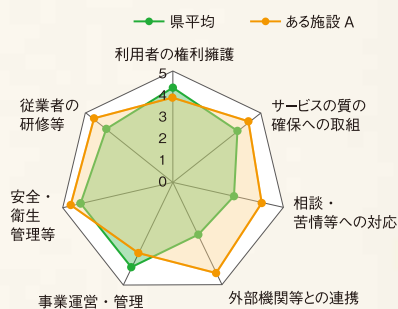
「介護サービス情報公表システム」は、全国の介護サービス事業所や施設の情報が掲載されているホームページで、お住まいの地域の事業所や施設を検索・比較することができます。インターネットに慣れていない方や初めて介護サービスを利用される方でも簡単に利用できるシステムとなっており、事業所や施設の特色や運営状況等を閲覧することができる上に、ケアマネジャーでも分からないような下記のような情報も公表されています。

このシステムを使うことで分かる特別養護老人ホームの情報の例

経験年数5年以上の介護職員の割合	介護職員が入れ替わる事なく安定的に定着しているかどうか分かります。
看護・介護職員一人当たりの入所者数	この数が少ないほど利用者にとって手厚い人員配置になっています。
介護職員の数 (常勤・非常勤勤務者の人数)	職員の数は施設の利用定員にもよりますが、常勤職員が多いのか、非常勤の職員が多いのかが分かります。
介護職員が有する有資格者数 (介護福祉士等)	近年、介護職員は人材不足と言われており、無資格者でも採用する傾向にある事業所もあるなかで、職員に有資格者が多いことは専門性が高い事業所であると言えるのではないのでしょうか。
夜間職員配置加算の有無	夜間常の配置人数は利用者定員によって1名～5名以上と違いますが、「夜勤職員配置加算」という加算を取得している施設は夜勤職員配置数が介護保険制度で定められている規定数より多い施設である為、夜間手厚い職員配置となっていると思われます。

このように、事業所や施設の外観など普段、皆さんが知ることができる目に見える部分（ハード的な部分）だけでなく、サービスの詳細内容や職員の勤務実態・質、研修実施状況、安全・衛生管理の状況、相談・苦情等への対応、外部機関（地域など）との連携など目に見えない部分（ソフト的な部分）を知ることができます。これらの情報を知ることが、介護サービスを利用される方にとって公平であり、選びやすいものであることから、私たち事業者はきちんとした情報を正確に発信していく責任を強く感じています。

これから介護サービス事業所や施設を選ばれる際には、この「介護サービス情報公表システム」を活用されてみてはいかがでしょうか。



特別養護老人ホーム アイユウの苑
主任生活相談員 高下 康 司

※参考：厚生労働省「介護情報公表システム」<<http://www.kaigokensaku.jp/>> 2016-9-20

ISO9001(品質マネジメントシステム国際標準規格) 定期維持審査・拡大審査を受審しました

社会福祉法人松美会において、平成28年6月15日～17日にISO9001:2008に基づく、品質マネジメントシステムの定期維持審査とシステム拡大審査を受審し、7月4日審査登録機関の判定委員会において登録継続及び拡大が承認されました。

●ISO 9001とは

企業などが、顧客や社会が求めている品質を備えた製品やサービスを常に届けるための仕組みについて「国際標準化機構 (ISO)」が定めた、世界共通の規格です。その仕組みを更に良くしながら顧客の満足度の一層の向上を目指すためには、どのような組織にしたらいのか、責任分担をどうしたらよいのか、どのような方法で仕事をすればよいのか、どのような文書やマニュアルが必要か、などについて定めています。

製造業や建設業での活用実績を踏まえ、労働集約型産業である各種サービス業に「より効果的」に活用できることが認知されるようになりました。医療や福祉、介護サービスについても、伝統と慣習のなか、勘と経験で行われてきたこれまでの古いやり方を打破し、適切な経営マネジメントのもと良質なサービスを提供する仕組みを作ることが可能となります。

お客様にとって、ISO9001を認証している組織は、「顧客の要望を満たす製品やサービスを提供し、さらに顧客満足の上を目指す『信頼できる組織』である」ということができます。

日本におけるISO9001の認証数は36,131件であり、山口県内では411件。産業分野別で「医療及び社会事業」は511件であり、山口県内はわずか3件(平成28年9月16日現在JABデータより)です。

●これまで

スタッフの能力に左右されやすい、品質そのものがあいまいな介護サービスを、「24時間364日均質で良質な、ご利用者様に選択していただける介護サービスとして、利用者満足を追及し、実現できるよう、システム(仕組み)として構築したい」との強い思いから、平成11年10月1日付けでISO9001の認証(審査登録)取得を実現しました。社会福祉法人として、特別養護老人ホームとして、在宅サービスの複合供給体として日本初のことでした。

これまで、年1回の維持審査を13回、3年ごとの更新審査を5回受審し、新たなサービス拠点を立ち上げるたびに拡大審査を受審してきました。このたびは平成26年7月開設の「アイユウの苑しおはま」における地域密着型介護老人福祉施設と小規模多機能型居宅介護のシステム拡大を実現しました。

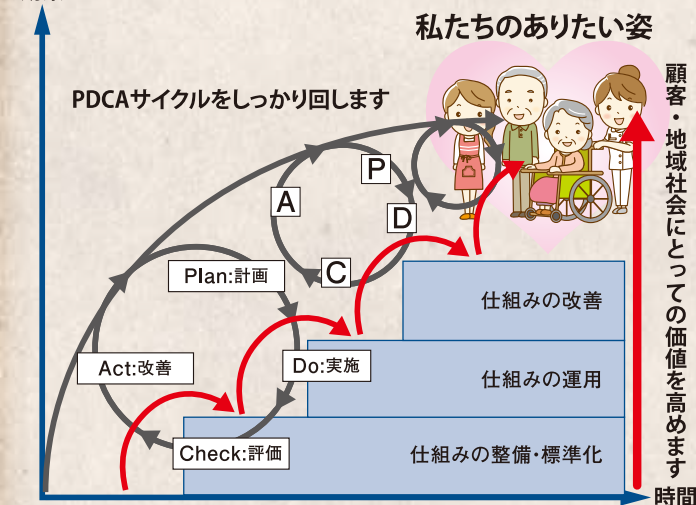
業務を標準化し、仕組みを整備し、PDCAサイクル(計画→実施→評価→改善)を回すことで、サービスの質の継続的な改善が可能となり、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様に安心をお届けするとともに、職員にとっては働きやすい職場づくりにつながっていると実感しています。

●これから

社会福祉法人松美会のすべての拠点でISO9001の認証(審査登録)取得するため、彦島地域包括支援センター、しおかぜの里保育園においてシステム拡大を目指します。

法人をあげて、さらなるお客様満足をめざし、品質マネジメントシステムの維持および継続的改善を推進してまいります。

効果



顧客・地域社会にとっての価値を高めます
時間



法人事務局
事務局長 辻 中 浩 司

徘徊者搜索声かけ模擬訓練

超高齢社会を迎えた今、高齢者の4人に1人の割合で認知症の症状があると言われています。認知症高齢者の増加とともに、行方不明になられるなどの事故も増えてきています。事故を未然に防ぐためには、個人情報の問題など難しい課題はあるにせよ、地域で助け合いながら認知症高齢者の見守り活動を行うことが有効だという議論がされています。

たのくび拠点では、実際に認知症高齢者が行方不明になったことを想定し、搜索・声掛け・連絡（通報）の方法を訓練する『徘徊者搜索声掛け模擬訓練in向井町』を、向井町二丁目自治会をはじめとする諸団体と共同開催しました。

訓練には42名もの地域の方々にご参加いただき、認知症についての理解を深める講義や、行方不明となっている徘徊者役を搜索し、実際に声をかけ、保護したうえで適切な機関への通報までを訓練しました。

全行程で2時間半にも及ぶ訓練でしたが、「認知症のことを知らなかったので勉強になった。」や「年々、認知症の人が多くなるので、有意義だった。」「今からの取り組みが大事になることがわかった。」などのお声をいただくこと

アイユウの苑 グループホーム
管理者 江藤文彦

ができました。「認知症高齢者の方が行方不明になってしまっても迅速かつ円滑に搜索し、安全に保護することができ。」また、「認知症になったとしても住み慣れた自宅で安心して生活が継続できる。」そんな相互に支え合い、助け合える地域に今よりもっと近づけていけたら、とても住みよい地域になると思いませんか？

今回の訓練のアンケート結果をもとに、皆様のお役に立てる介護保険の説明会を下半期初頭に計画しています。アイユウの苑たのくび拠点は、地域の皆様のしあわせに貢献し続けます。



各拠点からのお知らせ

たのくび

拠点
(彦島田の首町)

各拠点からのお知らせ

しおはま

拠点
(彦島塩浜町)

災害時への取り組み

昨今では予測できないような災害が各地で発生しています。当施設では非常災害時のために非常食と飲料水を備蓄しています。今年は初めてご利用者様を対象に非常食提供訓練を行いました。

電気・ガス・水道等のライフラインと厨房が使用できない想定で訓練を行い、実際にご利用者様に非常食を食べていただき、提供から実食まで一連の訓練を行うことで大変さや課題を知る機会になりました。

ご利用者様の安全を守るために、非常災害時に実際に行動できる体制づくりはとても大切です。また、塩浜地区はところによって高潮や浸水、土砂崩れの危険区域でもあるため、自治会長様からは“地域住民が塩

浜唯一の高い建物である当施設に逃げることができるから安心だ”と話をされていましたが、現実的に起こりうることもかもしれません。地域密着型の施設として、地域の方々や災害時にもお互いに協力し合える体制をつくるためにも、日頃から自治会長様をはじめとした地域の方々とのコンタクトを取り合うことは大事になってくと思っています。

災害時に地域の皆様からも頼りにされる存在になれるよう、今後も災害時対策への取り組みに力を入れていきます。

小規模多機能型居宅介護 アイユウの苑
管理者 寺迫 薫



各拠点からのお知らせ

さこ

拠点
(彦島迫町)



ケアマネジャー“テスト”はじめました。

ケアマネジメントセンターでは、“法令遵守”を徹底するために、平成28年度より、ケアマネジャー全員を対象に『テスト』を行っています。『テスト』を通して、ケアマネジャーがしっかりと制度の内容を理解し、法令を遵守したケアマネジメントができているかを確認しています。

『テスト』と言っても、徹夜をしなければならないような、難易度の高いものではありません。運営基準や行政からの指導内容、職員間で悩んだ事例や個々のケースで学んだ制度の解釈、さらには、他のサービス事業所さんからいただいた問い合わせ内容など、ケアマネジャーがケアマネジメントを進めていくうえで、理解していなければならない内容となっています。

特養

利用者様・ご家族様にとって

安心できる施設に

今年の2月に厚生労働省から、介護施設などの職員による高齢者への虐待が過去最多の年間300件にのぼるという「高齢者虐待の調査結果」が発表されました。厚生労働省の分析によると、職員の認知症への理解や介護技術の不足、ストレスや感情のコントロールができていないことなどが虐待に至った要因だとされています。

私たちは介護のプロであり、その私たち職員が高齢者を虐待するなんてことは絶対にあってはならないことだと思っています。高齢者施設で虐待行為が増加しているとの報道のなか、私たちは今後も絶対に施設内虐待を起こさないよう、未然に防ぐ取り組みとして、右記の取り組みを強化しています。

私たち介護職員は、ご利用者様の生活を守る立場

にあります。ここに住まわれているご利用者様や大切なご両親などをお預けになっているご家族様が安心できるような施設であるよう、これからも努めてまいります。

- 「認知症ケア」、「高齢者虐待防止」について例年より時間を割いて勉強会を行う。
- 職場内報告をしやすい環境を作る。
- 職員のストレス軽減として面談やリフレッシュ休暇の取得の推進を行う。
- 予防のための体制作りと防止のための活動として「虐待防止委員会」の設置や地域の皆様へ「介護オンブズマン」として、ご利用者様からの苦情や、相談を聞き取っていただく環境を作る。

特別養護老人ホーム アイユウの苑
主任生活相談員 高下 康司





地域密着型 介護老人福祉施設おはま
介護職員 中村 悦子
平成26年度入職 介護福祉士

私がこの仕事をしていて良かったと思うのは、ご利用者様と笑顔で同じ時間を過ごせる瞬間と、自分自身の成長を実感できる瞬間です。

ご利用者様の笑顔は、私たち職員との信頼関係があってこそ見られるものです。日々の生活のなかで毎日、関わらせて頂くことで家族のような信頼関係を築けた時、ご利用者様の自然な笑顔にやっと会えるのではないかと、日々お手伝いさせていただいております。

また、アイユウの苑では多くの社内外の研修に参加できる環境があり、自分が成長できる機会がたくさんあります。それだけでなく、多職種の先輩方のご指導のおかげで、私の知らなかったことを学べる機会も多いと感じています。



今後も自分自身成長しながら、ご利用者様が笑顔で過ごせる時間を増やしていきたいです。

松 | 美 | 会 | の | 人 | 財

私たちが働いています！

→ 今回のテーマは…

この仕事をしていて良かったと思う瞬間



ホームヘルプサービス
サービス提供責任者 新田 律恵
平成16年度入職 介護福祉士

介護の仕事に就いた時、デイサービス職員とヘルパー職員の兼務からスタートしました。初めは、初めての仕事で2つの仕事を行うのはとても大変なことで、日替わりでデイサービスとヘルパーの仕事を行い覚えることが2倍。当時、体力と頭をフル活用していたのを覚えています。大変な時期でしたが、2つの仕事を行うことでデイサービスとヘルパーをご利用される方には名前を早めに覚えて頂けるなど良いことも沢山ありました。今となってはデイサービスの様にセンター内で他職員と一緒に仕事をするのと、ヘルパーの様にご利用者様宅で、一人で仕事をするもののどちらも、自分にとってはとても良い経験となりました。昨年ヘルパー専属となり、今はサービス提供責任者として仕事をしています。

この仕事の魅力は、ご利用者様の笑顔に会えることです。ご利用者様に、「あんた、この頃顔を見んけど元気かね!」と私のことを覚えてもらえて笑顔で声をかけてくださる瞬間が、この仕事をしていて良かったと思う瞬間です。



特別養護老人ホーム
介護職員 峰 苑花
平成25年度入職 介護福祉士

アイユウの苑で働きだして3年。初めは、分からないことばかりで、毎日「私にはこの仕事は向いていないのかな…」と悩むことも多かったです。

そんな私がこの仕事を続けてこれたのも、ふとした時に見せてくれるご利用者様の笑顔や、「ありがとう。」「あんた優しいから好きよ。」などの優しい言葉のおかげです。

私が担当しているご利用者様は、時折、居室から顔を出し、私のことを探されていることがあります。ある時、用事をお聞きすると、「散歩の相手のあんたを探しよった。」と笑顔で話されるので一緒に散歩に行くと、「あんたと一緒に散歩に行くと、みんなに声を掛けてもらえるから本当に良いことばかりよ。ここにきて本当に良いことばかり。」と言ってくれました。些細なことに見えますが、こういった言葉一つひとつが私の喜びであり、成長に繋がっていると思っています。

まだまだ未熟で、失敗することもあります。ご利用者様を今よりもっと笑顔にできる介護職員を目指して、今後も頑張っていきたいと思っています。



ゆめタウンショートステイ
介護職員 佐々木 結花
平成27年度入職 介護福祉士

私は、学校を卒業して、この介護という仕事に初めて就きました。最初は、ちゃんと働けるのかな、私はみんなと協力し、役に立って働けるのかなという不安な気持ちでいっぱいでした。ですが、職場の雰囲気はとてもよく、ご利用者様も職員も笑顔で1日1日を過ごしているのを見て、私も同じことをしたい、他の職員と協力しご利用者様を笑顔にしたいという気持ちに変わりました。それをしていくうちに、自分が苦手と感じていたコミュニケーション能力や、自分で質問したり聞くこと、他にも身だしなみにとても気をつけるようになったこと、1つ1つ細かく丁寧に物事をするようになったこと、また、自分だけで判断しないようになったこと、自分自身がこんなにできていなかったことや自信がなかったことに、この仕事をして意識がいき、とても良かったと感じています。ご利用者様から「ありがとう。」と感謝をされて、自分が疲れていてもその言葉だけで「また、明日も頑張ろう。」という気持ちになり、その嬉しさを知ったことがこの仕事をしていてほんとに良かったと思う瞬間です。



災害時に落ち着いた対応をするために

ゆめタウン拠点では、年に数回避難訓練を開催しています。火災時等、万が一避難しなくてはならない状況になった時に備えて、職員が慌てずに少しでも落ち着いた行動を取るためです。また、ここ数年では日本中で地震・津波・台風・高潮・川の氾濫等で多くの人々が被災されており、山口県でも同様の状況が発生する可能性はゼロではありません。

施設には多くのご利用者が生活されており、私たち施設職員は、いつどんな時に災害が発生したとしても、ご利用者を安全に避難誘導する義務があります。よって、定期的に避難訓練を開催することで、職員が落ち着いた行動を取れるように努めています。なお、時間帯・発生場所・災害の種類(火災・津波・高潮等)



地域密着型介護老人福祉施設
ゆめタウン
生活相談員 河崎 亮

各拠点からの
お知らせ

ゆめ
タウン
拠点
(長府ゆめタウン)

各拠点からの
お知らせ

しおかぜ

拠点
(彦島迫町)

しおかぜの里保育園
園長 泉 喜代美

夏らしい遊びで“夏”を満喫!

しおかぜの里保育園は、ひこっとランドマリニビーチという海水浴場の目の前という立地を活かし、夏には海遊びを行います。海遊びでは、プールの感覚と違い、波が打ち寄せてくる楽しさと、砂浜の気持ち良さを満喫しました。また、新園舎になり、初めてのプール遊びでは、潮風を感じながら眺めの良い場所でのプール遊びに、子ども達も大喜びでした。

また、せわしくなく鳴くセミの声を聞いて、みんなで近くにある彦島八幡宮へセミ取りに行きました。アブラゼミやクマゼミをみんなで見つけて、虫網でゲット!! 誰がセミを捕まえて虫かごに入れるか、話し合いながら夢中になっていました。

この時期ならではの遊びとしてボディペインティングも。日頃はなかなかできないことですが、この日ばかりは思いっきり絵の具を体中に付けて遊

びます。子どもらしい、ちょっとしたアート作品がたくさんできました。

夏の暑さに負けず、夏の遊びを元氣いっぱい満喫した今年の夏。子ども達は地域との交流や、多くの新しい発見に触れたりする体験を通して、子どもたちの心の豊かさが培われていきます。

これからも、しおかぜの里保育園は、子ども達の言葉に耳を傾け、子どもの気持ちに寄り添う保育を目指していきたいと思っています。

